

### 惣構の石垣

江戸時代後期の惣構の石垣を、はじめて発掘で確認しました。

古文書により、惣構の大部分は土手だったと考えられているため、堀の兩岸に石垣が築かれていたことはこの地点の特徴といえます。

### 狭められた堀

最初の岸は、自然のがけを利用した斜面でした。18世紀からは堀の外側、19世紀初めからは土居側に石垣を築いています。堀の外側では石垣①→石垣②→石垣③の順に、古い石垣を埋めて前面に新しい石垣を築き、堀幅を狭めています。

### 枯木橋

調査地のすぐ南側には、堀に架かる「枯木橋」があります。江戸時代には、メインストリートである北国街道が城下町に入る東口にあたり、門（木戸）を設けて橋番人が人の出入りを管理していました。



延宝期金沢城下図における調査地点  
(1674年頃：石川県立図書館蔵)



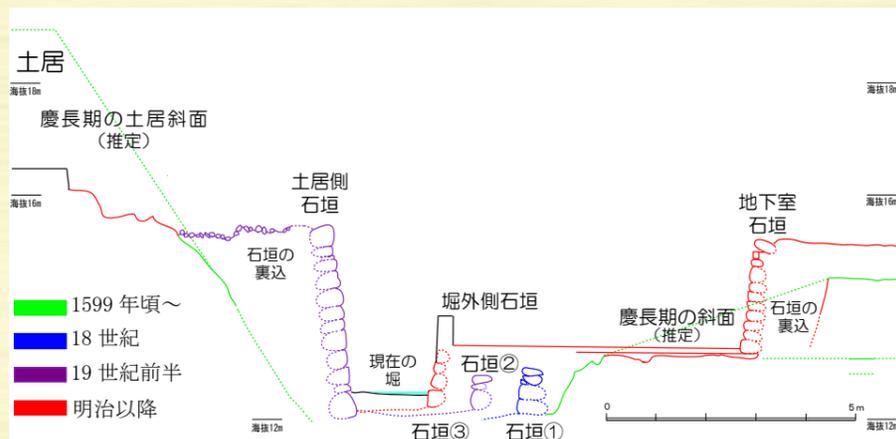
調査区全景（奥が土居）



堀外側石垣の変遷



土居側石垣の構造



堀の岸と石垣の変遷

### 堀が狭められた時期

出土した陶磁器により、17世紀末と19世紀初めに堀を埋め狭めたことがわかりました。岸は土手だったと考えられます。

### 堀の流れと周辺環境

堀の堆積土を分析した結果、よどんだ水に棲むプランクトンや、松の花粉などが見つかりました。松を植えて川の堤防を強化することがあり、惣構の土居にも植えていたのかもしれませんが。



延宝期金沢城下図における調査地点  
(1674年頃：石川県立図書館蔵)



西外惣構断面の3次元画像と岸の変遷



惣構のイメージ図

### ひろさか 広坂遺跡の惣構跡 平成 10～12 年度

金沢 21 世紀美術館の南側には、西外惣構の堀が流れています。美術館を建築する際に発掘調査をしました。堀に面して土居盛土とその土どめ石、幅約 5.5m の砂利道、武家屋敷の土塀石垣が約 160m にわたって見つかりました。かつての武家屋敷街の景観を思い起こさせます。



広坂遺跡の惣構跡

### お問い合わせ

金沢市都市政策局歴史遺産保存部

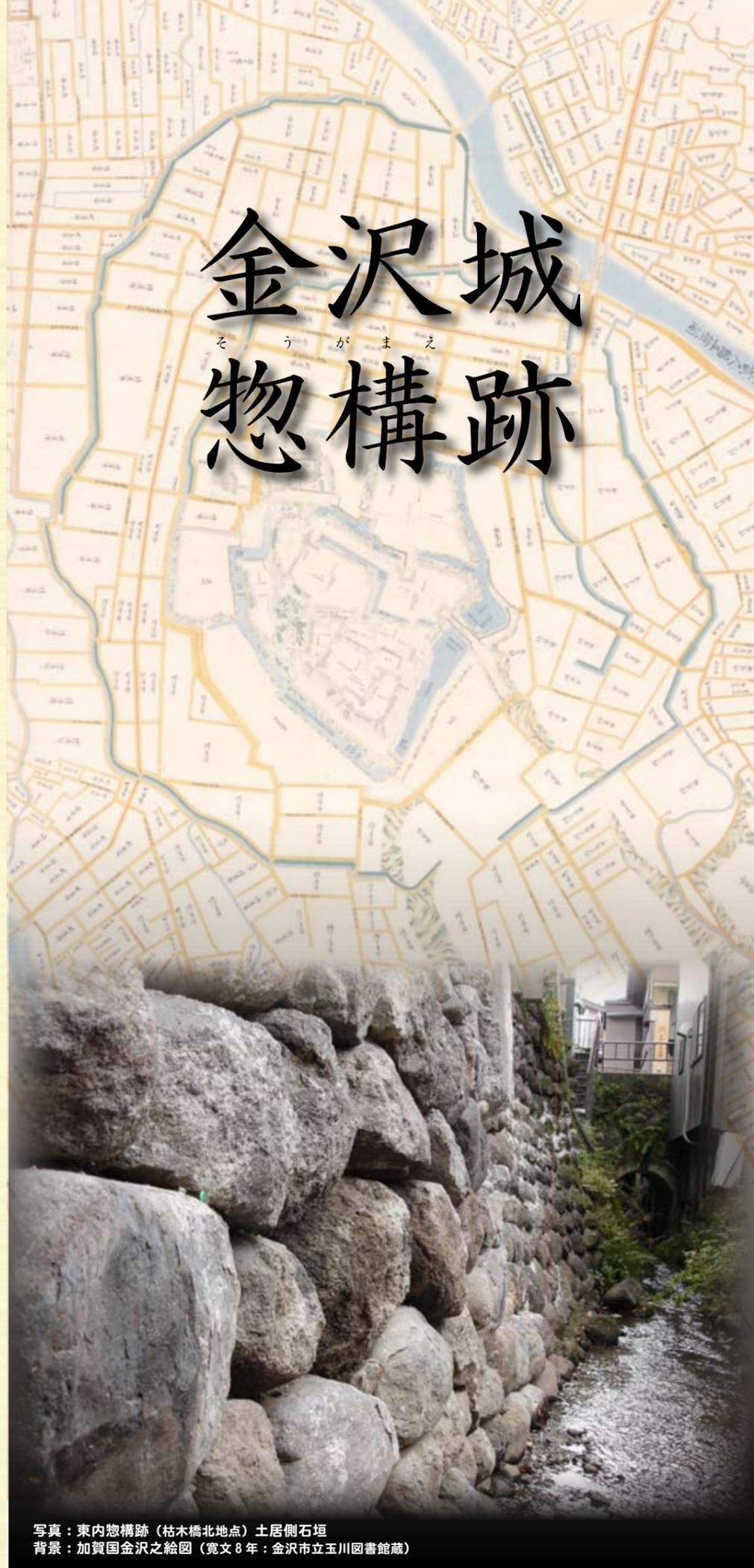
歴史建造物整備課

用水・惣構堀保全室 Tel 076-220-2907

文化財保護課 Tel 076-220-2906

埋蔵文化財センター Tel 076-269-2451

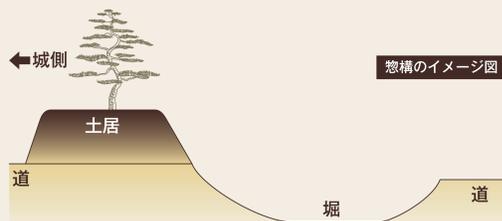
# 金沢城 惣構跡



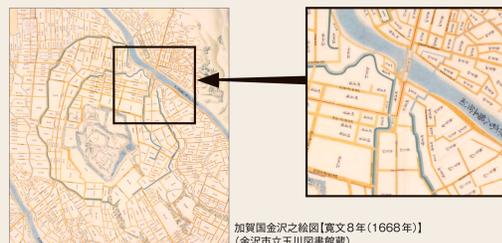
# 金沢城惣構跡 ~東内惣構堀枯木橋詰遺構~

## 惣構とは？

「惣構」とは、お城を核とする城下町を囲い込んだ、堀や土居などの遮断施設のことです。安土・桃山時代～江戸時代初めにかけて、多くの城下町で造られました。堀の城側には土を盛り上げ土居とし、竹や木が植えられていたようです。



金沢城には、城下町を囲って内、外2重の惣構が造られました。内惣構は、慶長4年(1599年)二代藩主・前田利長が高山石近に命じて造らせたとされています。さらに慶長15年(1610年)には三代藩主・前田利常が篠原一孝に命じて外惣構を造らせました。



ここは東内惣構で、南側には堀にかかる「枯木橋」があります。枯木橋は、旧北国街道が城下に入る要所にあたり、門(木戸)を設けて橋番人が人の出入りを管理していました。

金沢町絵図【文化8年(1811年)】  
(金沢市立玉川図書館蔵)

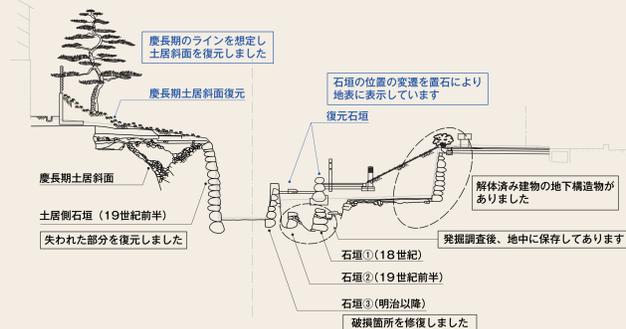
## 復元整備について

復元のコンセプトは

- 1 発掘結果をもとにした復元整備
- 2 堀の変遷や規模が目で見えてわかる
- 3 市民が気軽に立ち寄り歴史を感じ取ることができる

これら3点です。

右の写真は、上空から写した整備完了写真に発掘調査した部分(赤枠線内)を重ねたものです。



## 発掘調査結果

平成18年10月に、ここ東内惣構の発掘調査を実施しました。

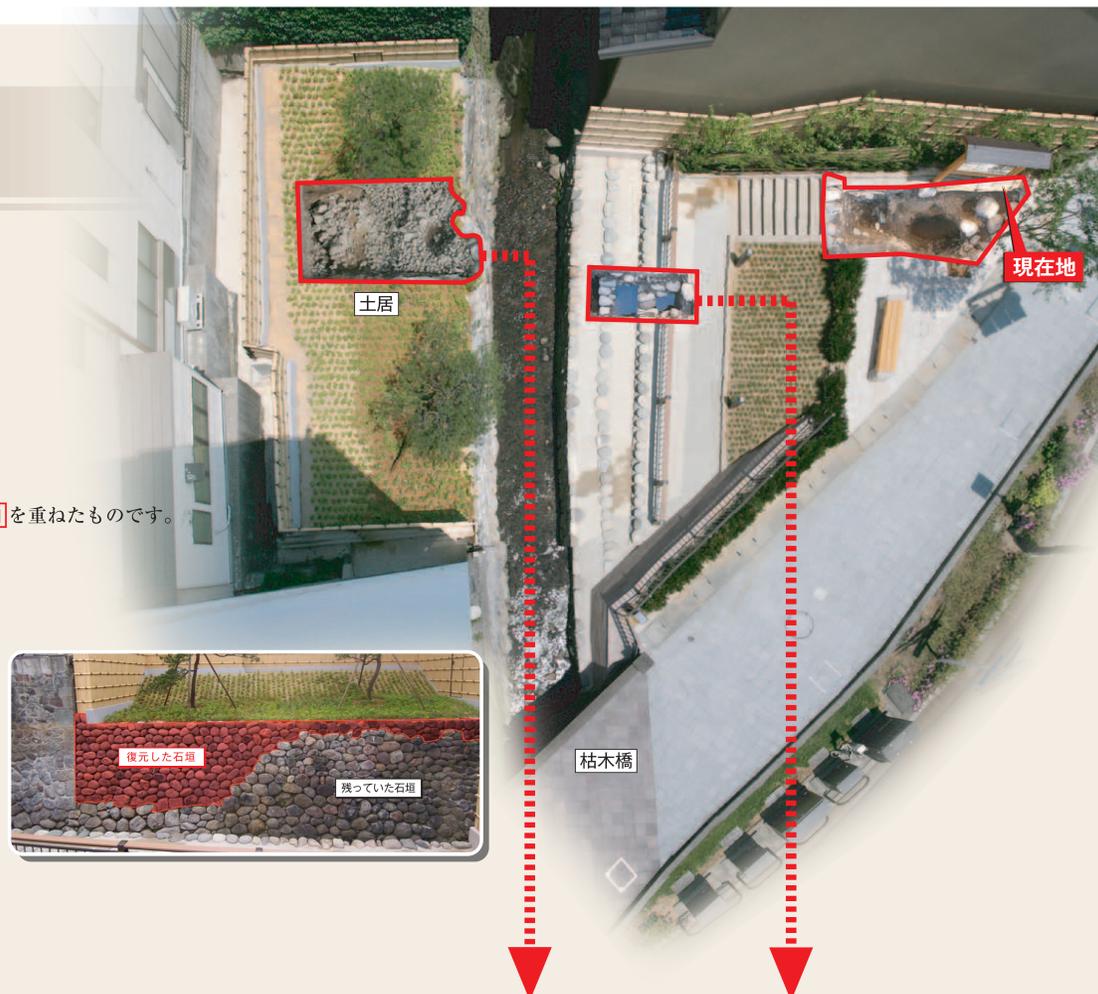
- 1 江戸時代後期には石垣が堀両岸に築かれていました。

従来は、惣構の大部分は素堀りに竹木などの植栽を施していた程度と考えられていました。両岸に石垣が築かれていたことは、ここが城下へ入る重要な場所だったためと考えられています。

- 2 堀が江戸時代後期から明治時代にかけて石垣を築きながら狭められていった様子が判明しました。

堀の土居側では19世紀前半から石垣を築いています。

堀の道路側では18世紀から石垣①→石垣②→石垣③の順に古い石垣を埋めて前面に新しい石垣を築き、段階的に堀幅を狭めています。



19世紀前半に築かれた石垣です。



土居側(左岸側)の発掘状況です。石垣のうしろから築造当時(1599年)と思われる土の斜面が出てきました。



道路側(右岸側)の発掘状況です。堀が埋められていった様子がわかりました。